



新潟県

NEW

県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第169号 令和4年12月・令和5年1月合併号 病院局発行

中央病院の患者サポートセンター 昨年12月にリニューアル！

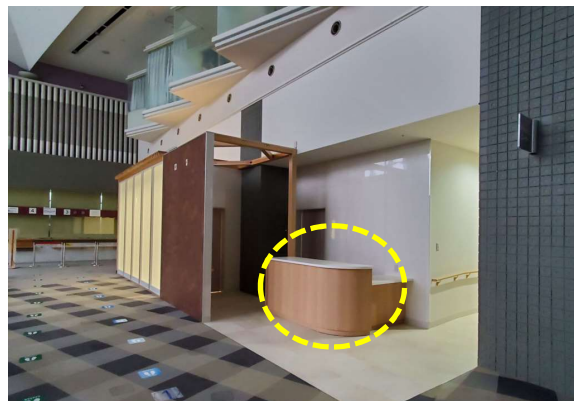
患者サポートセンターは、患者さんが外来・入院の別なく、より良い医療・福祉・介護を受けていただけるようにお手伝いをする部門です。各種申請業務の他、在宅医療や転院の調整など患者さんと地域をつなぐ役割を果たしており、地域医療の連携、機能分化や医療・介護連携の推進が求められる中で、更なる活躍が期待されている部門です。

今回はリニューアルした中央病院の患者サポートセンターを紹介します。

リニューアルポイント① 利用者の利便性向上

今回のリニューアルでは、簡易的に間仕切りで設けていた執務スペースや相談受付を、壁で完全に仕切り、執務スペースや相談受付と1階フロアが物理的に分離するようにしました。

また、それに合わせて総合案内の位置をサポートセンター近くへ移動させる、発券機を設置して呼び出し番号を管理し、相談したい案件ごとにサポートセンター内のモニターで確認できるようにするなど今回のリニューアルを機会に、サポートセンター利用者だけでなく病院を利用される患者さん全員がスムーズに院内を移動できるようなレイアウトにしました。



▶以前（上写真）はサポートセンター全体が1階フロアとつながっていたが、下写真のような壁を設置。写真中央黄色丸が新しい総合案内。



▲合計4室の相談室を整備

利用者の相談内容は、治療のことはもちろん、自宅に帰ってからの生活に関することなどプライベートな内容が多いことから、壁と扉でしっかり仕切られた空間とすることで、安心して相談いただけるようにしました。部屋も4室設置し、複数の相談に同時に対応できるようにしました。

リニューアルポイント②

職員提案で実現！多目的利用可能なミーティングルーム

今回のリニューアルでは設計の段階から職員が積極的に関わりました。その中で実現したものが多目的に利用が可能なミーティングルームです。

職員全員での打ち合わせに使える広さがあり、また、折り畳み式の間仕切りで部屋を仕切れば相談室としても機能するように設計されています。今後も相談数が増加し、かつ内容が複雑になるにつれ、業務量や連携相手が増えてくることを見越した職員の提案で、設備に柔軟性を持たせることができました。

ほかにも受付スペースに衝立を設置するなど細かい点で利用者の利便性が向上するような改善を行いました。



▲◀ 普段は上写真のようにミーティングルームとして広く使用しますが、相談件数が多いときは下写真のように間仕切りを出して相談室として使用します。



▲衝立のついた受付スペース

【編集後記】

記事を書く中で、患者サポートセンターの職員数が当初8人から現在20人まで増加していたことを知り、患者さんを1つの病院ではなく地域全体で見ることがいかに求められているかを感じました。また、設計から現場職員が関わり、設備に職員の思いが活かしている点も印象的でした。

突然ですが・・・



県立病院売店 売上ランキング



発表！

県立病院内の売店は主に「一般財団法人新潟県病院同仁会」が運営しています。新潟県病院同仁会は、臨床医学の研究支援や病院の患者さんへの便宜の供与を目的としており、その利益は県立病院の臨床研究や研修に対する助成事業、患者さんの療養環境整備事業などに充てられます。売店事業は直営での運営が7病院、委託での運営が4病院となっています。（残りは各病院で個別に委託しています）

今回は直営店7店舗の最も売り上げが多い品目についてランキングにしました。（令和4年度上半期の仕入れデータをもとに調査）

- 🏆1位 弁当・パン・惣菜（お弁当に加えて地域の名産品の売れ行きが好調）
- 2位 衣料・日用品・衛生雑貨（患者さんの肌着に加えて高単価の婦人服が売上に貢献）
- 3位 菓子・その他食品（地元銘菓が人気）
- 4位 飲料（手堅く清涼飲料水の売上が延びる）
- 5位 新聞・雑誌（特にパズル雑誌が売れ筋）



お問い合わせ先：同仁会事務局（Tel025-284-6291）